

[25] 次の記述は、「小学校学習指導要領解説 総則編」(平成 29 年 7 月告示)の「第 1 章 総説 3 道德の特別の教科化に係る一部改正(2) 一部改正の基本方針」の一部である。空欄 ～ に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 。

これまでの「道德の時間」を要として学校の を通じて行うという道德教育の基本的な考え方を、適切なものとして今後も引き継ぐとともに、道德の時間を「特別の教科である道德」(以下、「道德科」という。)として新たに位置付けた。

また、それに伴い、目的を明確で理解しやすいものにするとともに、道德教育も道德科も、その目標は、最終的には「 」を養うことであることを前提としつつ、各々の役割と を明確にした分かりやすい規定とした。

- | | | | |
|---|----------|-------|-------|
| ① | ア 体験的な活動 | イ 道德性 | ウ 独自性 |
| ② | ア 教育活動全体 | イ 道德性 | ウ 関連性 |
| ③ | ア 体験的な活動 | イ 人間性 | ウ 独自性 |
| ④ | ア 教育活動全体 | イ 人間性 | ウ 関連性 |
| ⑤ | ア 教育活動全体 | イ 人間性 | ウ 独自性 |

[26] 次の記述は、「中学校学習指導要領解説 総則編」(平成 29 年 7 月告示)の「第3章 教育課程の編成及び実施 第2節 教育課程の編成 2 教科等横断的な視点に立った資質・能力 (1) 学習の基盤となる資質・能力」の一部である。空欄 ～ に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 。

ウ 問題発見・解決能力

各教科等において、物事の中から問題を見だし、その問題を定義し解決の方向性を決定し、解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、振り返って次の問題発見・解決につなげていく過程を重視した を教科等の特質に応じて図ることを通じて、各教科等のそれぞれの分野における問題の発見・解決に必要な力を身に付けられるようにするとともに、総合的な学習の時間における な探求課題や、特別活動における の生活上の課題に取り組むことなどを通じて、各教科等で身に付けた力が統合的に活用できるようにすることが重要である。

- | | | | |
|---|-----------|-----------|-----------|
| ① | ア 学びの連続性 | イ 創造的・発展的 | ウ 地域社会や学校 |
| ② | ア 深い学びの実現 | イ 横断的・総合的 | ウ 地域社会や学校 |
| ③ | ア 学びの連続性 | イ 創造的・発展的 | ウ 集団や自己 |
| ④ | ア 深い学びの実現 | イ 創造的・発展的 | ウ 集団や自己 |
| ⑤ | ア 深い学びの実現 | イ 横断的・総合的 | ウ 集団や自己 |